

通(つう)とは物事をよく知っていること。知る人ぞ知る、岩手町の魅力をお届けしてまいります。



## 貴重な古写真

## 本物の人間が人形の代わりに！ 物不足の時代の川口地区の風流山車



「この写真を見てください。こんな時代もあつたんですよ」と一枚の古写真を見せるのは上町の岩崎清一さん。写真は、昭和二十四年頃の川口豊城稲荷神社例大祭の風流山車。そこには驚くべき発見がありました。風流山車の上に飾られているのは人形ではなく、何と七福神に仮装した本物の人間でした。当時は物不足の時代でしたから、年に一度の風流山車の人形の材料すら事欠く有様でした。大切なお祭りを寂しくさせてはいけなないと、みんなで知恵をしぼって考え出したのが、本物の人間が人形の変わりになることでした。思えば色々なことがありましたね」と岩崎さん。同祭の風流山車の運行は、道路の交通量の増加によって昭和四十三年に中断。同六十一年にはバイパス開通により十八年ぶりに復活を果たすなど時代の変遷を経て、今も誇り高く受け継がれています。



当時の様子を知る  
**岩崎 清一さん**  
(89歳、上町)

「時代が変わっても人の思いは変わりません。積み重ねた歴史を大切に残していきたいですね」と岩崎さん

## 編集後記

町の皆さんこんにちは。いつも快く取材に協力していただきありがとうございます。さて今月の特集、豊かな岡に花が咲く。いかがでしたでしょうか。戦争でふるさとを失うという未曾有の出来事から始まった、豊かな岡の歩み、牧草畑がどかに広がる現地には、往時の鬱蒼とした森の面影はありません。取材を通じて知ったのですが、最も苦しい時代を知る皆さんは、意外にも当時のことをあまり子どもなどに話してこなかったそうです。そのような貴重なお話を、今回の取材では、大勢の皆さんから頂きました。本当にありがとうございました。大切な宝物は、遠くの島にあるのではなく、すぐ目の前にあるものなのかもしれません。この町のカタチをみんなで大切にしたいですね。(志田)

## こちらデスクです



62-2111(内線)216